



假名垣魯文和解



鮮齋永濯画



助文屋岡辻人版出



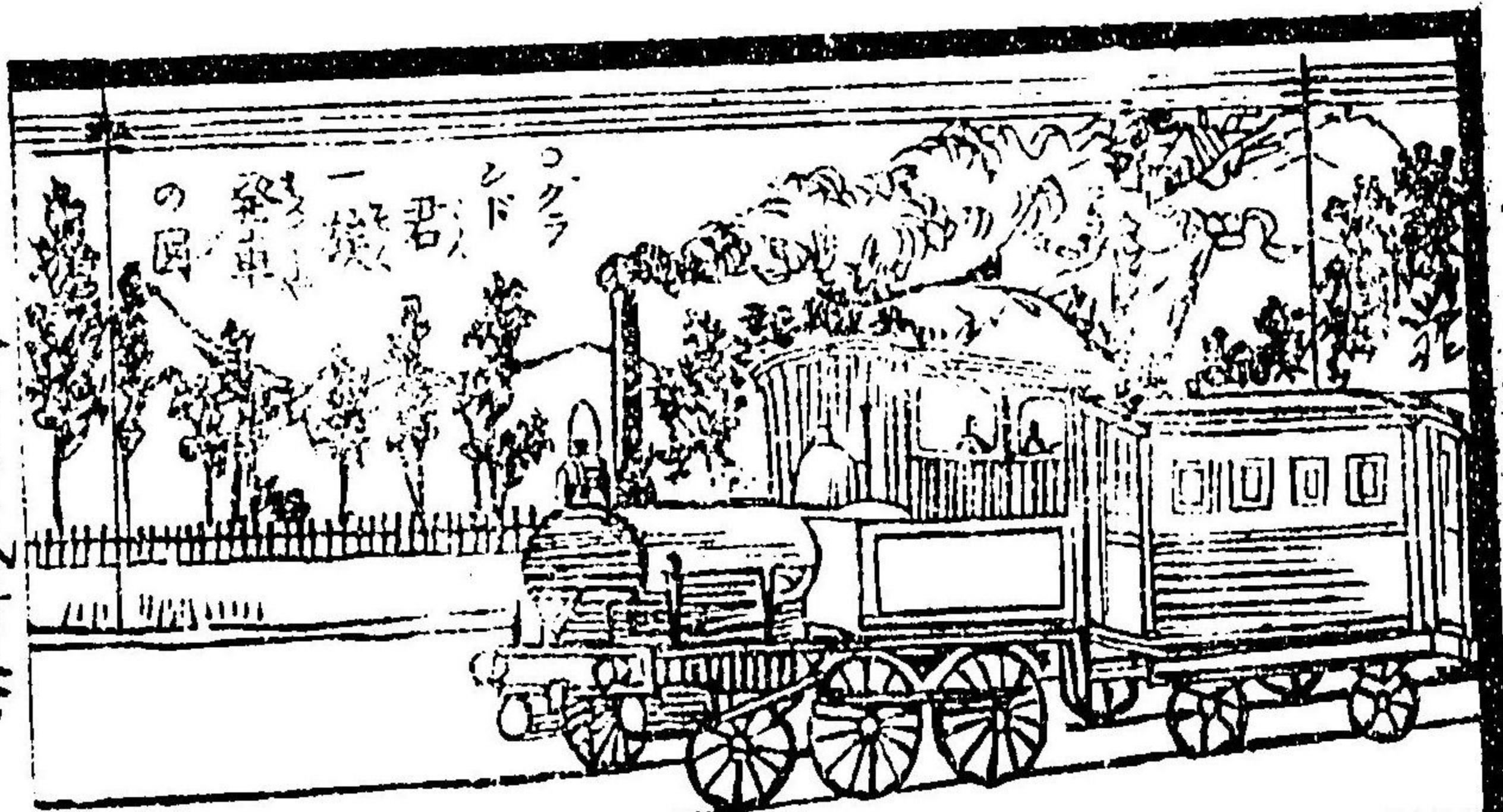


特42

909





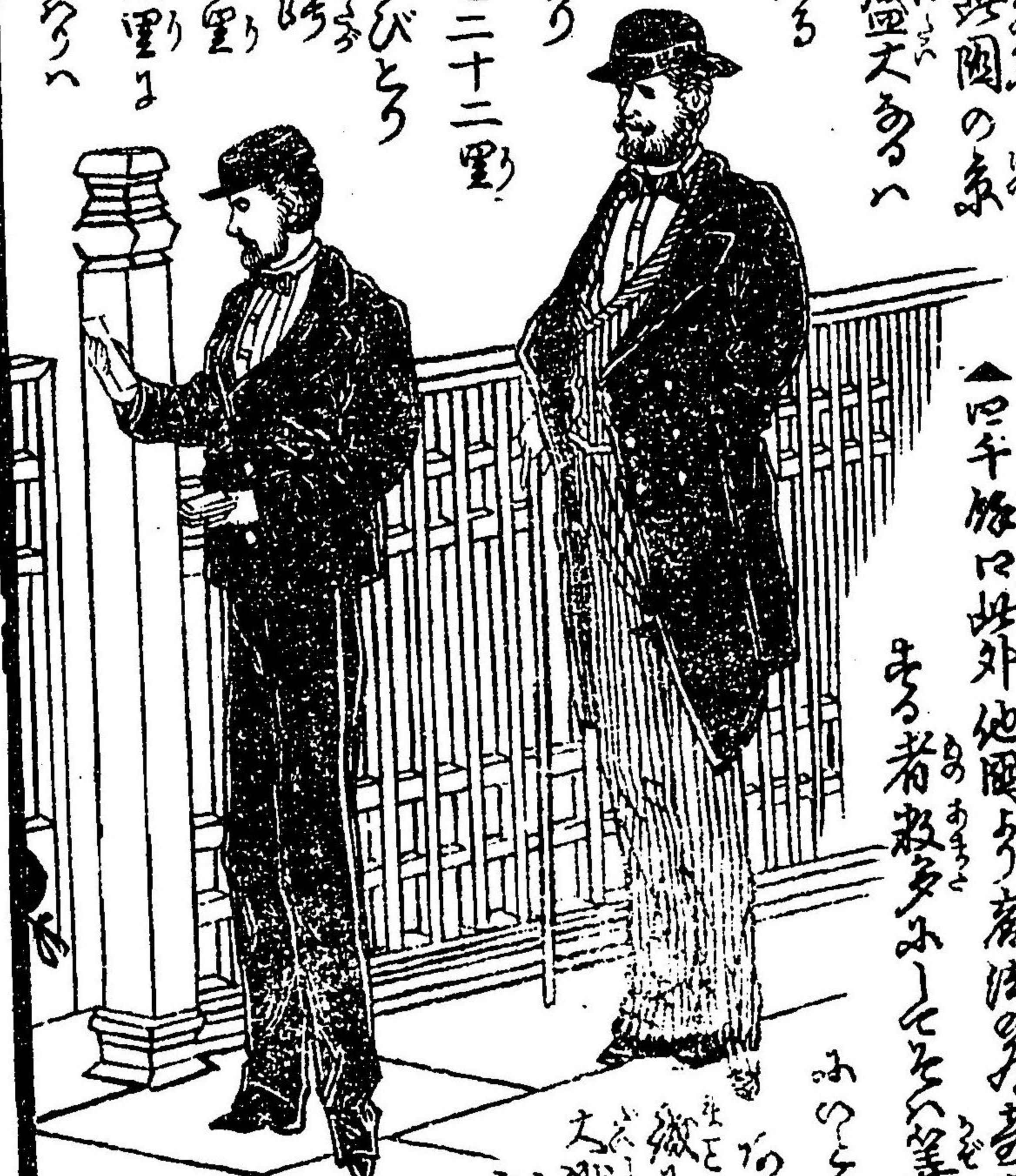


格蘭氏傳倭文賞二編卷之下  
 大日本 假名垣魯文和解  
 グランド君の一泊の己は秋風の吹くころに  
 大平洋の大鉄道より汽車よ来たて自國  
 と数一泊あつた大西洋より先英  
 國に到る事此事は英國の公使  
 ふも聞へしれは官更及び本國の公使  
 願事も出迎へグランド君一行の旅館を扱  
 有能頭より取扱け饗食後あとも厚く  
 て女王ウイクトリア陛下がグランド君を  
 と迎へ王宮に格下ら直親しく謁見あり  
 後高勲爵一覽を呈するを以て





龍動の世園の東  
 城とその盛況である  
 世界よとらるる  
 知らなく  
 その地方  
 テームス河より  
 さうのなること二十二里  
 水の岸ふたたびとら  
 南の岸よとら  
 うて長サハは里  
 何もう幅ハは里  
 出入りハは里



四千餘は此外他國より商法のなる者  
 なる者数多ふことと等なる

大湖中  
 交易  
 場の  
 から  
 世界

別よ郵屋と統ら  
 さを舟外よ十  
 みの所とらり  
 人家列ありと  
 一於舟のたつ  
 か如し舟内の人  
 船の歯のゆく  
 途と何まも  
 之階よりみ六階よ  
 至るは舟のちま  
 く其船の目を刺し  
 二十有餘里のりとう  
 人の数ありと二百二十万



此の如く  
 集り  
 怪  
 後  
 船  
 六  
 階  
 一  
 万  
 二  
 百  
 二十  
 万





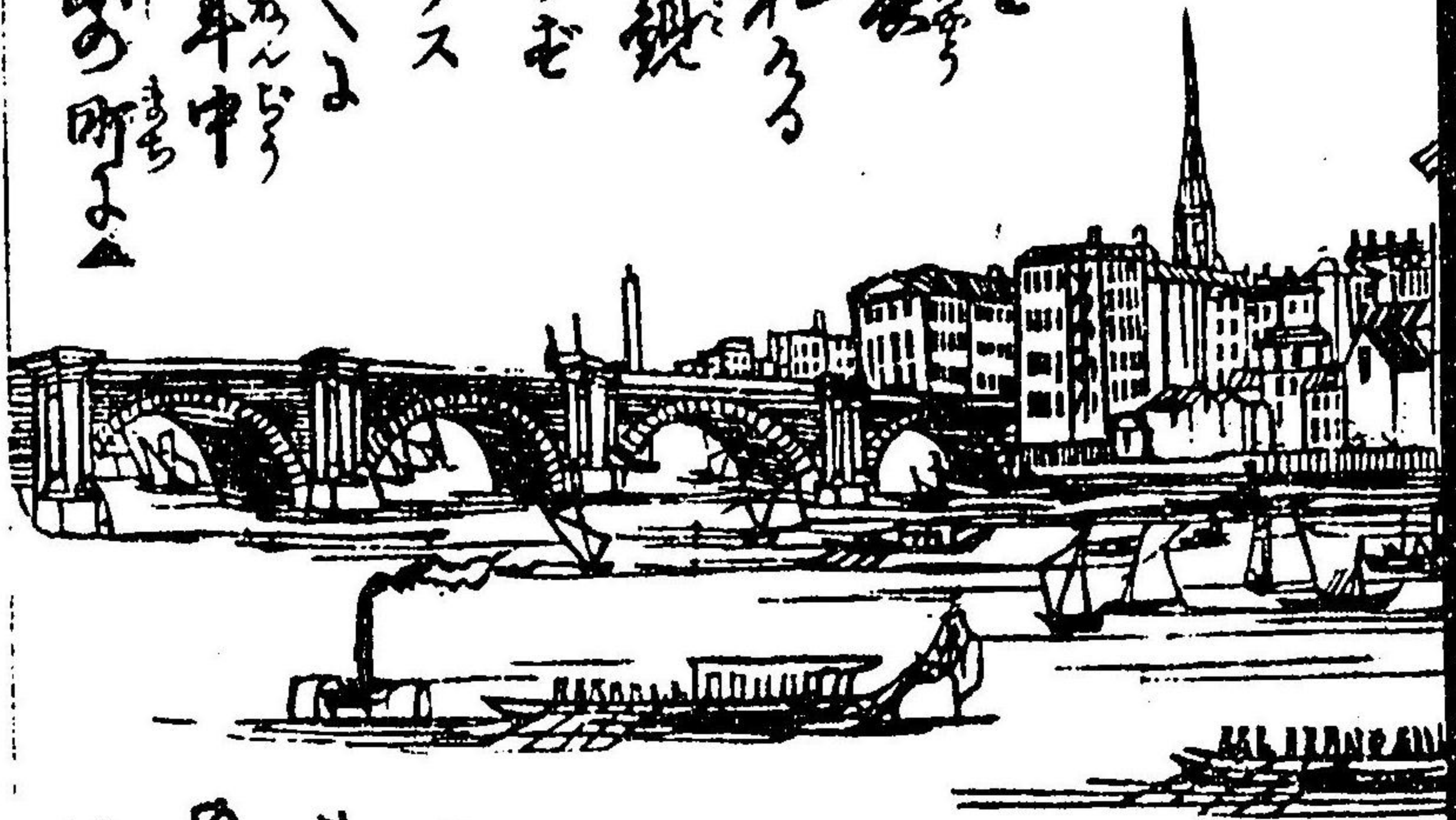


東洋の通商  
 シティと号け  
 西船とウエストミン  
 ステルと号け南岸  
 テーラス河と号け  
 地とソウスオークと  
 号け東の交易の地よ  
 してのちどら高橋と  
 多くその又ひがりの運賃  
 易の市場をよと通商  
 局のむびきりたる目と  
 驚かすまをりあり西船の



築造の  
 かつとも英  
 森と極  
 めハセン  
 トポール  
 ストと  
 寺ありて  
 この境  
 内よ建  
 てる橋ハ  
 形も円く  
 その高サ

方ハ甚だしく物折の修入地  
 して敷造りたるもの建て  
 るるび流橋をくまら  
 よむらたるをよと通商  
 修び家よこの園の折丸長  
 者のままの地とを知られるる  
 南の岸ハ家遠陽多く観  
 修なるをよと通商  
 修らハもちく折而のガラス  
 修と軒よ照しつとくよ  
 輝やをよと通商  
 晴と見る例ハよと通商



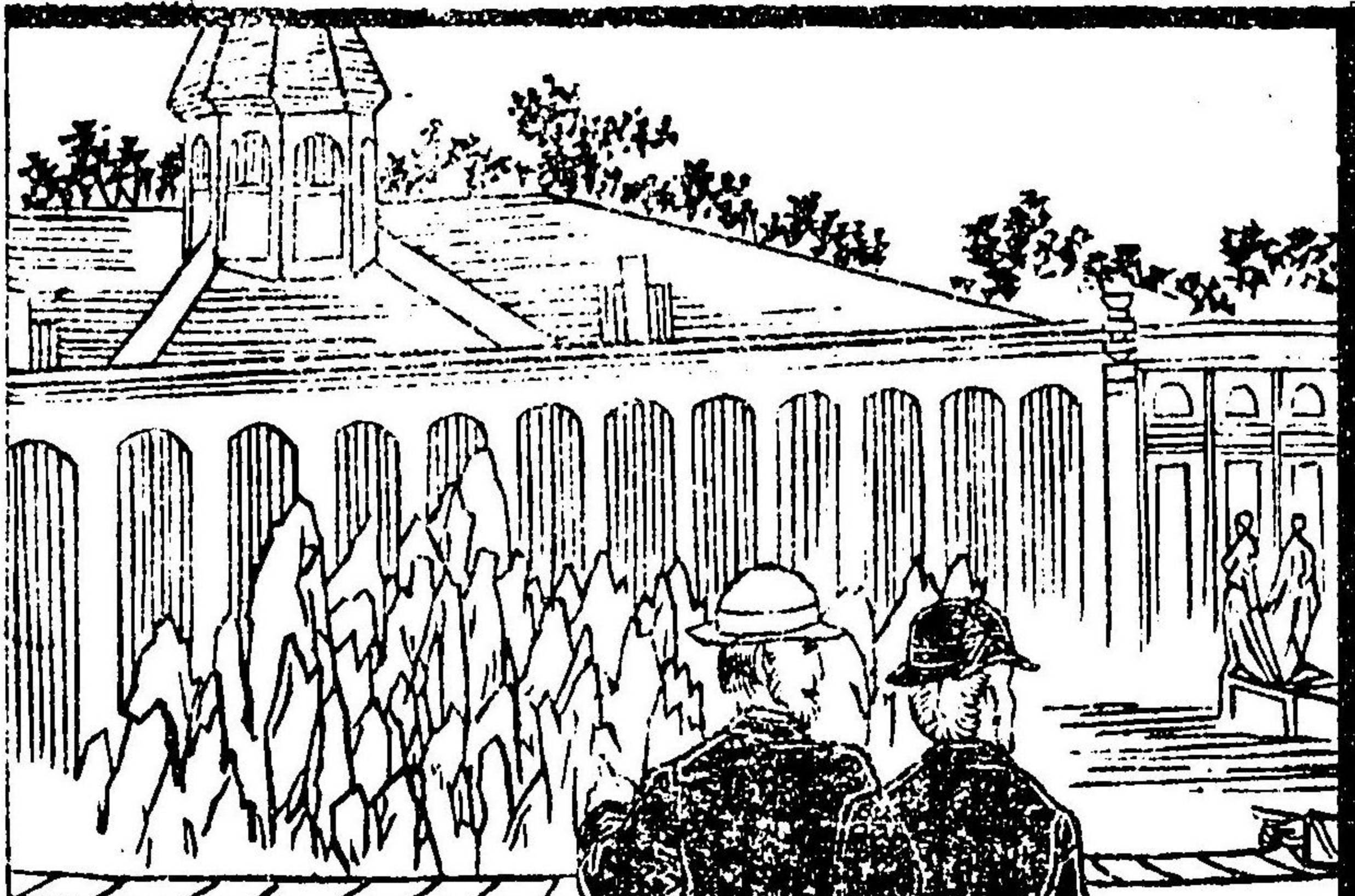
六十一百四  
 その田徑り  
 ハ二十四百一  
 又あり中央  
 まると折  
 ちを用ひむ  
 内面ハ折の  
 函園とあり  
 見事ハ修り  
 まつ内外修り  
 の石像細し  
 てたふあり





此邊きき  
 絶動格よ格と  
 大ききあるかうのの  
 標一物ちつもの  
 高サ二十何間をう  
 その内よ茶屋をま  
 類一なる  
 階よ  
 二

宝壺と安置ま  
 あり二百何年あ  
 高野大よ罹りて  
 一万二千を焼き  
 古び何まこの人  
 怪人あり  
 あり此かうのの  
 標一衣違てその  
 頂よ  
 中ま  
 大た



水晶宮  
 の景  
 エリサベスとりくる此  
 圓の女王もこまな後ひ  
 なる一しき古路ありと  
 なるあつあつと成  
 岩庫よ用ひむの兵  
 代々の王の衣履冠り

此と吊るある火の如知よ  
 築たありとまを於トウ  
 ル城のむじ  
 維摩王  
 の建築せ  
 一ありよ

水晶宮の景



格闘の歴史  
 格闘の歴史は、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。また、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。

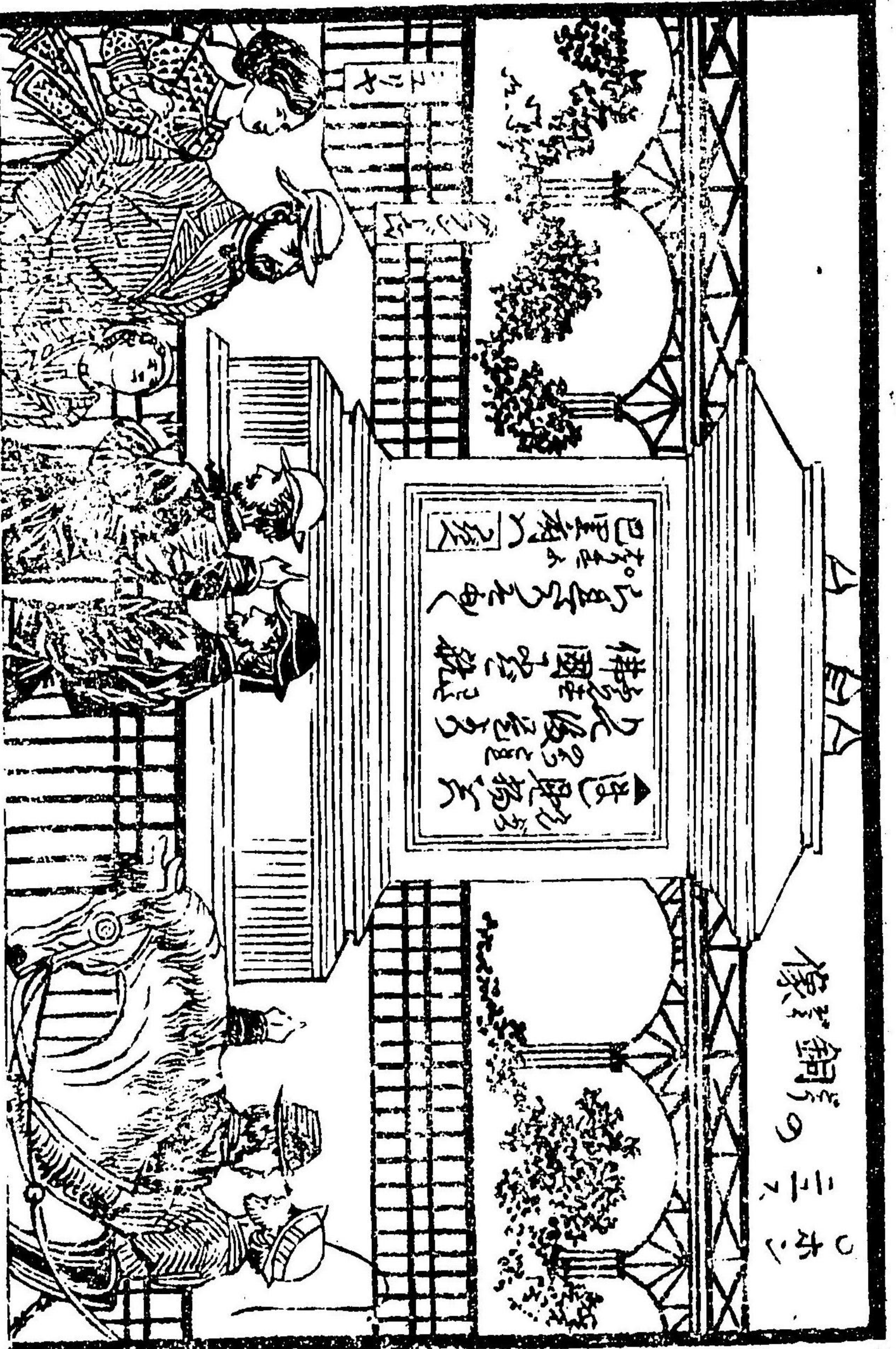
格闘の歴史は、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。また、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。

格闘の歴史は、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。また、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。

格闘の歴史は、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。また、古くは縄文時代の土偶や土器の文様から始まり、古墳時代の埴輪や土師器の文様にも見られる。



銅像の三ホシ



銅像の三ホシ





つきあうんを國の系  
 減る人の数  
 一百万の  
 その幅の  
 さる物動の  
 ち一よ  
 ぶと  
 ども遠  
 家の  
 く従  
 炎  
 勤

▲堅固よか  
 うち焼  
 殺多の  
 と築  
 大  
 ちま



ぶら  
 第一の  
 ありま  
 セー  
 南  
 の  
 方  
 と十  
 終  
 石  
 祭

官  
 精  
 の  
 巧  
 店  
 表  
 人  
 彩  
 中



新青島市街



チェイレリ

の官赦の

めた金

限の

旗り

茶園

多と鏡

と名づる寺院

セーネ

河み

そむて

古の

築

あり

グランド

君の先

尚国の天統

順ふ面接の後

ノルトルダム  
寺院

一世ナボレマンの墓  
直直二千二箇一尺頂き金  
見物つら中みゆ七月標

煉をぬる天人の像と  
まきい二十一年祭七月の動

乱と平さたる標一ありと  
又フリースワンドムの社

りるへきく奇藤の造  
築の中八角の空地

...

めぐりし樹の  
まると散り又  
ルブルの官赦  
国王海男十  
世の所も来あ  
と金破倫  
第一世の所  
之小遠路  
まはばる  
政羅巴第一の  
官赦と世の終  
府中ノトルダム

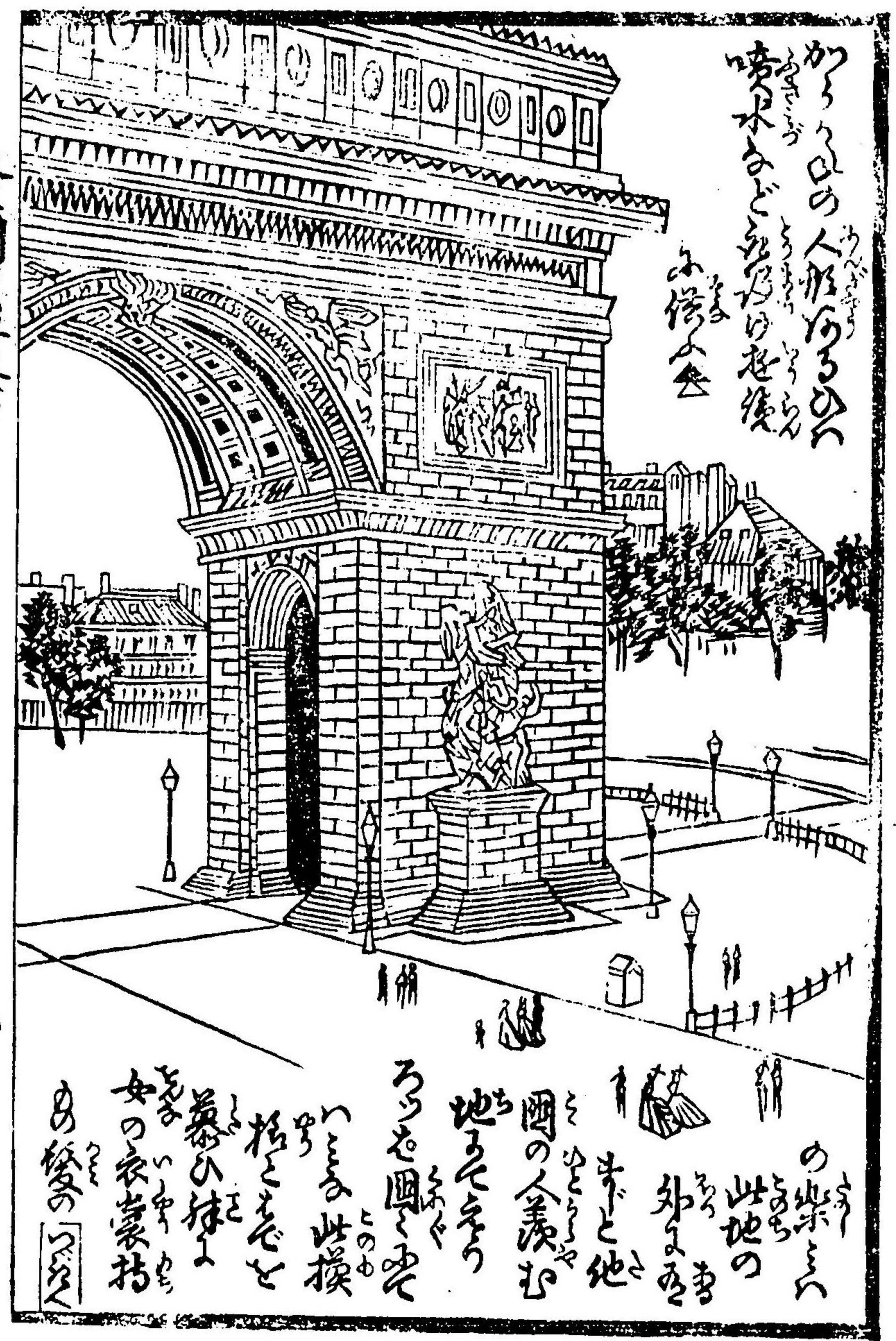


新青島市街



一 飯一中央より直ま二千二百  
 飯の田ま洞の標一なり  
 ありまきやと戦車の内めん  
 とうまの処ろの大砲とびとれ  
 縛造とのみ頂上はナボレラン  
 一世の像とゆふ又セーネの  
 二世の像とゆふ再び一牙ある  
 ポニエウの橋と架ま知らふ  
 ヘスリ界は世騎馬の銅像  
 ちろまて此府のまろくま  
 なる居備

大べたのまきふよりグランド  
 その系もあつたをむされ目と  
 肉とをあせむとぬそ由フ  
 ランス中第一のまると多巴  
 野の人れい百物とあやふし  
 その著りてむむの風習  
 男女衣服の花美と鏡  
 以車馬の飾りふあま  
 物あま工風と強し風  
 教染の象の像を棒の  
 ともまの倉人る



かつらひの人形あつて  
 噴水などあつたは後  
 ふぼく

の地ま  
 此地の  
 外ま  
 地  
 國の人美む  
 地ま  
 ろつを國  
 此換  
 格と  
 幕の持  
 女の衣裳持  
 の像の



つぎ 降り帽子  
の形が一変  
この肩更紗形  
と家へ出  
せ

▲破海の  
人々の  
そのてと  
まぬく  
まぬく

倫破  
一世の像

△海は七巴里形  
の名を  
島と曰ふ  
別るがごとく  
グランド島の姓  
まより  
美と好ま  
島々の民の  
番は  
ゆるある  
その  
めんと





朝鮮  
牛肉丸  
名法

此丸は肉を丸くして煮るなり  
其の味は肉の味なり  
其の形は丸なり  
其の大きさは一寸なり  
其の作り方は  
肉を丸くして煮るなり  
其の味は肉の味なり  
其の形は丸なり  
其の大きさは一寸なり  
其の作り方は

官  
天泰丸  
詐

此丸は天を丸くして煮るなり  
其の味は天の味なり  
其の形は丸なり  
其の大きさは一寸なり  
其の作り方は  
天を丸くして煮るなり  
其の味は天の味なり  
其の形は丸なり  
其の大きさは一寸なり  
其の作り方は

安  
地本問屋  
錦繪

出板御用明治三十四年七月廿日  
假名垣角白文  
問屋 助



